

感謝状を贈呈した皆様からのメッセージ

～ 設立 40 周年 を 迎 え ～

1979 (昭和 54) 年に設立された (一社) 全国圧入協会 (JPA) は、本年 6 月におかげさまで設立 40 周年を迎えました。6 月 5 日に開催された「設立 40 周年記念総会」では、会長経験者・設立以来の会員様へ感謝状を贈呈しました。皆様から、JPA との思い出や今後の期待などについてメッセージを頂きましたのでご紹介します。

佐藤 明良様 / 会長経験者

佐藤様は 2007 年から 2 年間、JPA の会長を務められました。

私が会長だった時代、JPA は西新橋のこじんまりとした事務所で、事務員さんと二人の勤務でした。(株)技研製作所の東京本社へよくお邪魔して、北村名誉会長や多くの役職員の方にお世話になりました。圧入工法の進化は目覚ましく、ジャイロプレス工法は従来工法では難しい硬質地盤やコンクリート構造物などの地中障害物への圧入が可能になり、多くの現場に採用されました。これに伴い、JPA では圧入施工技士の資格取得など人材育成に力を入れました。

また、東京都・地方自治体・ゼネコンを対象に技術講習会・現場見学会を開催し、いずれも盛況で好評をいただきました。これも、圧入の家元である(株)技研製作所の皆様のご協力の賜物です。ありがとうございます。私たちの業界は、建設のあるべき基準「建設の五大原則」を遵守し未来の地球を守っています。JPA には安全・安心で活力ある社会を形成するための解決策をさらに考え提起するよう期待しています。



▲佐藤 明良様

土保産業(株) 代表取締役 樋口佳行様 / 設立以来の会員

JPA の設立 40 周年に際し、心からお祝い申し上げます。また、感謝状を頂戴し、誠にありがたく大変光栄に存じます。当社が JPA 設立から共に歩んできた 40 年間は「挑戦の歴史」でした。様々な条件に対し試行錯誤を繰り返し、圧入機の進化によって今まで不可能な現場が施工可能になってきたと感じています。そして、今や JPA の正会員数が 200 社以上となったことに驚嘆しています。

圧入工法は未来の地球を守る工法です。40 年でその重要性は着実に認知されています。圧入工法の普及という JPA の役割は大変重要です。圧入工法が「世界のスタンダード」となるよう、今後とも、関係官庁や会員企業の皆様と共に工法普及活動を推進していただきますようお願いいたします。当社としても各種委員会への参加を始め、JPA と一体となってより一層の発展に向けて取り組んで参ります。



▲樋口副会長 (土保産業(株))

(株)藤井組 代表取締役 森 致光様 / 設立以来の会員

このたびは設立 40 周年にあたり感謝状を頂戴いたしまして、誠にありがとうございます。

当社の前代表の時代に入会させていただき、私が代表となって 20 年目にこのような感謝状を頂戴できることは誠に光栄です。我々の職種に、このような団体が存在しない時代に JPA を設立され、それが 40 年にもわたり存続するだけでなく更に発展していることは、先人の方々の偉業に改めて敬意の思いを抱きます。

我々は、これから先人の方々の偉業に恥じない活動をし、JPA の発展に寄与できるよう今後とも精進いたします。



▲森理事 (株)藤井組

(株)高槻組 取締役 中島博之様 / 設立以来の会員

JPA が設立 40 周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。設立当初からのメンバーとして、このたび感謝状をいただきましたこと、大変うれしく思っています。

当社も今年創業 55 周年を迎え、改めて歴史と成長を振り返り、未来に目を向ける機会となりました。先般、JPA より、建設業業種区分の新設活動について案内がありました。協会会員の地位向上は、大変素晴らしい活動だと思えます。また、圧入施工技能者の地位向上として建設キャリアアップシステム、登録基幹技能者等、国が推進している事業等のフォローアップを進めていただければと期待しております。今後とも、JPA・会員各社様とますます発展していけることを切に願います。



▲中島取締役 (株)高槻組

北陸基礎工業(株) 代表取締役 小木一成様 / 設立以来の会員

JPA 設立 40 周年、誠におめでとうございませう。発足当時から会員を 40 年間継続できている現状を大変嬉しく思っています。JPA 設立時は 18 社からのスタートでしたが、今では会員数が 200 社を超えているとのこと、これも JPA と会員各社のご尽力の賜物だと感謝しております。

圧入工法は、この 40 年間、時代に合った進化を遂げ建設業界に貢献してきました。今後は、地区ごとの会合や委員会の回数を増やすなど、地域に応じた活動も増やしていただきたいと思います。JPA のこれからのご活躍をお祈りいたします。



▲小木社長 (北陸基礎工業(株))

(株)技研施工 代表取締役社長 大平厚様 / 設立以来の会員

JPA 活動の一番の思い出は、前会長の振井さんと全国の国土交通省へ圧入工法の技術説明に回った際、四国地方整備局と高知海岸の護岸補強、液状化対策の検討を行い、その結果圧入工法に決定し、現在も高知海岸で工事が行われていることです。これまで機械の完成度を高め、技術を磨き、実績を作り、圧入工法による全国の復興・防災・減災対策等の普及が進んでいます。昨年には、東北・関西・九州に続き北海道にも事務所を開設した結果、北海道においても圧入工法の採用が増えています。このように、JPA の活動は非常に重要です。これからの、圧入工法ならびに圧入技術の普及活動を継続し、業界の発展に邁進されることを期待します。



▲大平副会長 (株)技研施工

Infomation

事務局からのお知らせ

企画委員会が活動を開始しました！

『圧入施工会社ならびに圧入施工技能者の地位の向上』を目的として労務関連など様々な課題に専門的に対応すべく、「企画委員会」が設置されました。同・委員会は 7 社の会員企業の委員が参画し、7 月 19 日には第 1 回の会合が開かれました。

まずは、建設業界における地位の向上を目指して建設業業種区分の新設活動に取り組んでいます。各種情報提供などに、ご協力をお願いします。



協会 Web サイト www.atsunyu.gr.jp 【新会員のご紹介】

- | | | |
|------|--------------------|---------|
| 正会員 | ・永井クレーン工業(株)様 | 鹿児島県霧島市 |
| | ・重設工業(株)様 | 福岡県糟屋郡 |
| | ・(有)アース鋼建様 | 長崎県諫早市 |
| | ・(株)吉富工業様 | 愛知県大府市 |
| | ・木田重機興業(有)様 | 大分県大分市 |
| 協賛会員 | ・関西サービス(株)様 | 大阪府八尾市 |
| | ・日本産機(株)様 | 大阪府摂津市 |
| | ・大西建機販売(株)様 | 神奈川県平塚市 |
| | ・(有)共進電機様 | 沖縄県中頭郡 |
| | ・JFEスチール(株)様 | 東京都千代田区 |
| | ・国際サービスシステム(株)様 | 東京都港区 |
| | ・西尾レントオール(株)四国営業部様 | 香川県丸亀市 |

(2019 年 4 月～9 月入会、入会順・会員別)

【会員数の状況】(2019 年 9 月 15 日現在)

- | | | | |
|-------|----------|-------|------|
| ・正会員 | 202 社 | ・協賛会員 | 32 社 |
| ・賛助会員 | 4 社 5 団体 | ・特別会員 | 6 名 |

圧入工法の普及活動を精力的に展開

～ 発注者および建設関係の皆様が多数参加 ～

(一社)全国圧入協会(JPA)は、事業の柱である圧入工法の普及活動を全国各地で精力的に展開しています。今年度の活動についてトピックを紹介します。

■国土交通省・地方自治体に対する普及活動

国土交通省は、「国民の安全・安心の確保」「豊かな暮らしの礎となる地域づくり」等を重点に、防災・減災・国土強靱化のための施策を講じています。地方自治体も、同様に各地域の実情や必要性等に基づいて施策を推進しています。このような情勢のもと、JPAは環境保全技術として、また防災技術に優れた圧入工法の特長を発注者の皆様に解説する技術講習会や現場見学会を企画・実施しています。

■技術講習会&現場見学会 / 高知県

高知県の宇佐漁港は古くから水産資源の水揚げ港として栄え、近年ではマリンスポーツやホエールウォッチングも楽しめる観光地です。しかし、今後発生が予想される南海トラフ地震による津波・高潮に備え、海岸施設の保全事業が行われています。そのような中、高知県中央西土木事務所発注の「宇佐漁港海岸(宇佐中央地区)高潮対策工事」において、高知県とJPAの共催による技術講習会・現場見学会が7月31日に開催されました。当日は、高知県・高知市・須崎市より主に若手の職員の方56名が参加。技術講習会では圧入工法の全般知識から、先端ビット付き鋼管杭の回転切削圧入により玉石層や岩盤などの硬質地盤に施工できるジャイロプレス工法の特長までを網羅した講習を行いました。現場では同・工法の実施工の様子を見学しながら、参加者の皆さんと活発な質疑応答を交わしました。

■民間技術説明会 / 中国地方整備局

民間技術説明会は、中国地方の港湾工事や調査等で活用が期待される新技術の情報収集や発信の場として、主催が(公社)土木学会中国支部、共催が中国地方整備局・広島港湾空港技術調査事務所により行われるものです。同・説明会は、8月8日に広島市で開催され、発注者や民間の建設関係者54名が参加。協会からはジャイロプレス工法による圧入技術を説明しました。分かりやすく動画や写真を多用し、硬質地盤や地中障害物に対する同工法の有用性を説明することができました。

■CPD認定「圧入工法技術講習会」

CPD(継続教育)認定を受けた「圧入工法技術講習会」は、5月より全国各地で15回を開催しました。今年度のプログラムは、主な対象者となる設計コンサルタントや建設会社の技術者の方の業務に活用できるように、圧入工法の基礎知識および施工計画に関する要点・FAQ、硬質地盤クリア工法、工法選定から設計変更事例を解説。さらに、防災技術として優れた圧入工法による防災・災害復旧事例、建設生産システムの生産性向上の取組み i-Construction 適用技術「PPT(地盤評価を基に自動制御運転を行う圧入施工)システム」を解説し時宜に合ったプログラムとしています。全国の約400名の方が、圧入工法技術講習会を受講されました。参加者の業種割合は設計コンサルタント84%、総合建設業11%、その他5%で、92%の方から「業務の参考になった」と評価をいただきました。プログラムについては、今回の企画した「施工計画の要点・FAQ」が好評で「多様な場所に対処できるよう工夫された工法であることがよく理解できた」などのコメントもいただきました。また、JPAに対しては現場見学会の開催やジャイロプレス工法の技術講習会開催の要望が寄せられました。



▲回転切削圧入の効果を共有しました
(技術講習会&現場見学会/高知県)



▲参加者は熱心に聴講されました
(民間技術説明会/中国地方整備局)



▲3時間のプログラムで圧入工法を解説
(CPD認定 圧入工法技術講習会)